

北町西小 ことばの教室

令和3年5月学級通信
練馬区立北町西小学校
特別支援学級（言語障害通級指導学級）
TEL/FAX 3932-7631 教室直通



新緑が鮮やかな季節となりました。新年度が始まり、1カ月がたとうとしています。子供たちも新しい環境に慣れてきた様子で、学校での出来事を楽しそうに報告してくれます。

今後も充実した時間を子供たちと過ごすことができるよう、担任の先生方や保護者と連絡をとりながら、指導を行っていきます。

6月・7月の行事予定

- 6月 1日（火）都難言協専門研究会（午後）
8日（火）江北ブロック研究会（午後）
12日（土）言語運営研究会（午前）
28日（月）5校合同専門家相談ケース会議（午後）
29日（火）吃音グループ学習
通級指導学級研究会（午後）



- 7月 6日（火）江北ブロック研究会（午後）
10日（土）専門家相談（午前）
12日（月）通級終了
13日（火）・14日（水）・16日（金）・19日（月）
教育相談（午前）
15日（木）言語運営研究会・区入級検討会（午前）
20日（火）都難言協専門研究会（午後）

在籍学級訪問について

5～6月に在籍学級訪問を計画しております。

通級する子供たちの学級での様子を見せていただいたり、担任の先生と指導の共通理解や情報交換をさせていただいたりしたいと考えております。

感染状況を考えて、可能な限りで実施できたらと思っています。日時については、各担当から連絡をさせていただきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



コラム

『わすれられない一言』



Aくんがことばの教室に入ってきたのは1年生のときでした。
彼には吃音がありました。
そして絵を描いたら真っ黒に塗りつぶしてしまうような気持ちもありました。
お母さんも、そんな彼を産んでしまったことを密かに悩んでいたようでした。

私とAくんとの関わりが始まりました。
それはプレイルームで思い切り遊ぶというものでした。
時には、私がAくんの家来となり命令され続けたり、少しだけですが彼から
やっつけられたりすることもありました。

「遊ぶ」とはとても面白いものです。
遊んでいるとそれだけで気持ちが解放されるのです。

Aくんはとても強くなりました。
それは吃音さえも「気にしない」ほどになりました。



3年生。
Aくんは、もうことばの教室はなくても大丈夫になりました。
いよいよ最後の通級日。

去り際に、お母さんが決して忘れられない一言を私に言ったのです。
「先生、この子に吃音があって本当によかったです」

私は驚きました。
確かに、「吃音とともに生きる」気持ちは大切です。
でも吃音はできればない方がいいに決まっている…。

私は思わず聞き返しました。
「え。お母さん、どうして？」



すると、お母さんは笑って答えました。
「この子に吃音があったから、私も息子もこうして救われたのですから。」

障害って、なんでしょうね。
これは、私がことばの教室の担当者であることの「原点」となる一言になっています。

